

令和四年度

全国剣詩舞コンクール決勝大会

来場歓迎・入場無料

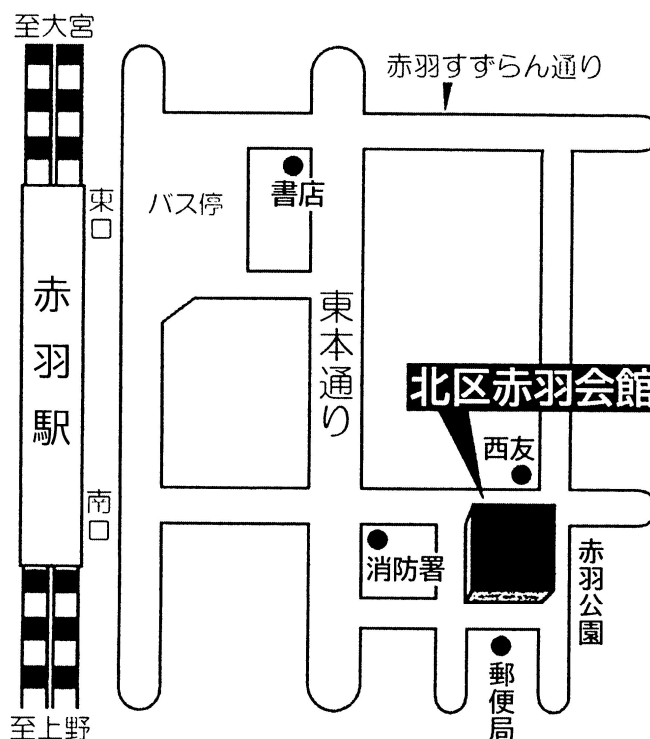
後援

N文化
H文化
K庁

- とき 令和4年9月18日(日)
午前9時30分開場・10時開始
- ところ 赤羽会館・講堂(裏表紙参照)

主催

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会



赤羽会館・講堂

〒115-0044
東京都北区赤羽南一丁目13番1号 TEL 03(3901)8121
(最寄駅) ●JR京浜東北線・埼京線・高崎線・宇都宮線
赤羽駅東口より徒歩約5分

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

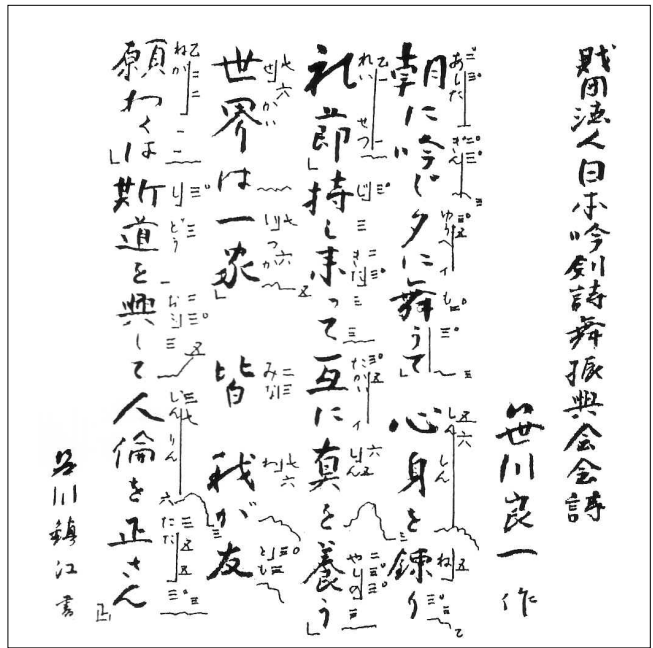
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10虎ノ門35森ビル7階
電話 (03) 6721-5950 (代表)
FAX (03) 6721-5960

大会次第

- 一、開会の辞
- 一、国歌斉唱
- 一、財団会詩合吟
- 一、財団代表挨拶
- 一、競演実施要項説明
- 一、審査委員紹介
- 一、競演 剣舞 幼年・少年の部
- 一、競演 詩舞 幼年・少年の部
- 一、幼年・少年の部 審査結果発表

- (注意)
- 一、役員集合 午前九時〇〇分
 - 二、審査委員会議 午前九時三〇分
 - 三、出演者集合 午前九時三〇分
- 時間厳守

- 一、競演 剣舞 一般三部・二部
- 一、競演 詩舞 一般三部・二部
- 一、競演 剣舞 一般一部・青年の部
- 一、競演 詩舞 一般一部・青年の部
- 一、審査講評
- 一、審査結果発表並びに入賞者表彰
- 一、閉会の辞



令和元年度(第四十一回)

・剣舞の部

- 幼年の部 永田 菜桜 (愛知) ⊗
- 少年の部 安藤 優 (愛知)
- 青年の部 入倉真之将 (愛知)
- 一般一部 永井 聡多 (愛知)
- 一般二部 大澤 三枝 (静岡)
- 一般三部 安部 敬子 (愛知) ⊗

・詩舞の部

- 幼年の部 片山 心結 (岡山)
- 少年の部 柴本佳乃愛 (愛知) ⊗
- 青年の部 神尾 舞 (愛知) ⊗
- 一般一部 小嶋 一勝 (京都)
- 一般二部 西川ひろ子 (京都)
- 一般三部 井本 勝子 (兵庫)

令和三年度(第四十二回)

・剣舞の部

- 幼年の部 埜 寛介 (愛知)
- 少年の部 堀 真悠子 (愛知)
- 青年の部 原 光希 (兵庫)
- 一般一部 荒谷早智子 (愛知)
- 一般二部 坂上 兎 (兵庫)
- 一般三部 中瀬眞 一郎 (大阪)

・詩舞の部

- 幼年の部 深井 萌衣 (岐阜)
- 少年の部 森 凜華 (愛知)
- 青年の部 五月女智仁 (栃木)
- 一般一部 鈴木 宏実 (愛知)
- 一般二部 佐々木まみ (京都)
- 一般三部 伊藤トモエ (愛知)

⊗印は、文部科学大臣賞受賞者

令和五年度全国剣詩舞コンクール指定吟題

☆剣舞		☆詩舞	
(幼年・少年の部)		(幼年・少年の部)	
1 豪勇義経	松口 月城	1 親を夢む	細井 平洲
2 出郷の作	佐野竹之助	2 九段の桜	本宮 三香
3 泉岳寺	坂井 虎山	3 舟中子規を聞く	城野 静軒
(青年・一般の部)		(青年・一般の部)	
1 剣 歌	小笠原白也	1 辞 世	吉田 松陰
2 塞下の曲 其の一	張 仲素	2 早に白帝城を発す	李 白
3 絶命の詞	黒沢忠三郎	3 母を憶う	頼 山陽
4 馬上偶成	高杉 晋作	4 芳 野	斎藤 拙堂
5 和歌・もののふの	菊池 武時	5 和歌・にほのうみ	俊成 卿女
(群舞)		(群舞)	
1 吉次峠の戦い	佐々 友房	1 黄鶴楼	崔 顥
2 坂本龍馬	松口 月城	2 水戸八景	徳川 景山
3 大楠公	河野 天籟	3 銭塘懐古次韻	积 絶海

<p>平成二十年度(第三十一回)</p> <p>・剣舞の部 幼年の部 友井川 友(兵庫) ⊗ 少年の部 服部 幸海(愛知) 青年の部 大野 晶子(愛知) 一般一部 伊藤 由康(愛知) 一般二部 伊藤 由康(愛知) 一般三部 伊藤 由康(愛知)</p> <p>・詩舞の部 幼年の部 松浦 百花(岐阜) 少年の部 丸山 愛美(岡山) ⊗ 青年の部 長坂 恵里子(愛知) ⊗ 一般一部 安藤 祐嗣(愛知) ⊗ 一般二部 安東 敏子(愛媛) ⊗ 一般三部 安東 敏子(愛媛) ⊗</p>	<p>平成二十一年度(第三十二回)</p> <p>・剣舞の部 幼年の部 神尾 舞(愛知) ⊗ 少年の部 野中 政利(栃木) 青年の部 近藤 聡司(愛知) ⊗ 一般一部 今泉 信行(愛知) ⊗ 一般二部 加藤 登規(兵庫) ⊗ 一般三部 加藤 登規(兵庫) ⊗</p> <p>・詩舞の部 幼年の部 杏川 桃子(愛知) ⊗ 少年の部 服部 怜海(愛知) ⊗ 青年の部 平田 陽子(岡山) ⊗ 一般一部 長澤 仁美(愛知) ⊗ 一般二部 酒井 玉美(兵庫) ⊗ 一般三部 酒井 玉美(兵庫) ⊗</p>	<p>平成二十二年度(第三十三回)</p> <p>・剣舞の部 幼年の部 上岡 隆生(三重) 少年の部 神尾 龍(愛知) ⊗ 青年の部 長坂 理絵(愛知) ⊗ 一般一部 長澤 仁美(愛知) ⊗ 一般二部 中木村 千和(兵庫) ⊗ 一般三部 中木村 千和(兵庫) ⊗</p> <p>・詩舞の部 幼年の部 神尾 舞(愛知) ⊗ 少年の部 柴田 幸海(愛知) ⊗ 青年の部 服部 幸海(愛知) ⊗ 一般一部 梶原 和子(和歌山) ⊗ 一般二部 和田 静(和歌山) ⊗ 一般三部 和田 静(和歌山) ⊗</p>	<p>平成二十三年度(第三十四回)</p> <p>・剣舞の部 幼年の部 入倉 光希(兵庫) ⊗ 少年の部 藤野 志郎(福岡) ⊗ 青年の部 伊藤 舞(福岡) ⊗ 一般一部 松田 清美(愛知) ⊗ 一般二部 牧野 頼壽(岡山) ⊗ 一般三部 牧野 頼壽(岡山) ⊗</p> <p>・詩舞の部 幼年の部 神尾 舞(愛知) ⊗ 少年の部 安藤 優(愛知) ⊗ 青年の部 日下 和美(京都) ⊗ 一般一部 近藤 智美(愛知) ⊗ 一般二部 古田 里子(静岡) ⊗ 一般三部 寺尾 恵子(兵庫) ⊗</p>	<p>平成二十四年度(第三十五回)</p> <p>・剣舞の部 幼年の部 石川 姫麗(愛知) ⊗ 少年の部 神尾 舞(愛知) ⊗ 青年の部 浦野 佳奈(兵庫) ⊗ 一般一部 石川 公江(愛知) ⊗ 一般二部 蜂須賀 代子(愛知) ⊗ 一般三部 小久保 恵子(愛知) ⊗</p> <p>・詩舞の部 幼年の部 柴本 佳乃愛(愛知) ⊗ 少年の部 野澤 美裕(東京) ⊗ 青年の部 見城 真弥(静岡) ⊗ 一般一部 佐治 有子(京都) ⊗ 一般二部 石原 和子(兵庫) ⊗ 一般三部 石原 和子(兵庫) ⊗</p>	<p>平成二十五年度(第三十六回)</p> <p>・剣舞の部 幼年の部 柴本 佳乃愛(愛知) ⊗ 少年の部 友井川 友(兵庫) ⊗ 青年の部 入倉 慶志(茨城) ⊗ 一般一部 小嶋 一勝(京都) ⊗ 一般二部 藤野 代志乃(福岡) ⊗ 一般三部 稲垣 和子(愛知) ⊗</p> <p>・詩舞の部 幼年の部 西浦 輝(愛知) ⊗ 少年の部 長澤 真元(愛知) ⊗ 青年の部 中川 史帆(愛知) ⊗ 一般一部 内藤 栄子(岡山) ⊗ 一般二部 今和泉 静子(広島) ⊗ 一般三部 今和泉 静子(広島) ⊗</p>	<p>平成二十六年度(第三十七回)</p> <p>・剣舞の部 幼年の部 安藤 雅治(岡山) ⊗ 少年の部 上岡 雅高(三重) ⊗ 青年の部 増井 保伸(奈良) ⊗ 一般一部 今久保 恵子(愛知) ⊗ 一般二部 永岡 美智子(岡山) ⊗ 一般三部 大橋 幸枝(愛知) ⊗</p> <p>・詩舞の部 幼年の部 野田 璃珠(愛知) ⊗ 少年の部 安藤 優(愛知) ⊗ 青年の部 多田 麻衣子(大阪) ⊗ 一般一部 石渡 千紘(愛知) ⊗ 一般二部 鈴木 育代(静岡) ⊗ 一般三部 友井川 睦子(兵庫) ⊗</p>	<p>平成二十七年(第三十八回)</p> <p>・剣舞の部 幼年の部 友井川 慧照(兵庫) ⊗ 少年の部 原 光希(兵庫) ⊗ 青年の部 永井 聡多(愛知) ⊗ 一般一部 迫 希実秀(千葉) ⊗ 一般二部 渡辺 敦子(三重) ⊗ 一般三部 渡辺 敦子(三重) ⊗</p> <p>・詩舞の部 幼年の部 大日方 心海(愛知) ⊗ 少年の部 野田 麗乃(愛知) ⊗ 青年の部 杉浦 沙織(愛知) ⊗ 一般一部 長坂 沙織(愛知) ⊗ 一般二部 松永 どり(岡山) ⊗ 一般三部 井上 成子(大阪) ⊗</p>	<p>平成二十八年(第三十九回)</p> <p>・剣舞の部 幼年の部 堀 真悠子(愛知) ⊗ 少年の部 多田 慧秀(岡山) ⊗ 青年の部 増井 康二(兵庫) ⊗ 一般一部 長坂 紗織(愛知) ⊗ 一般二部 五月 女益美(栃木) ⊗ 一般三部 玉田 朝子(兵庫) ⊗</p> <p>・詩舞の部 幼年の部 堀 真大朗(愛知) ⊗ 少年の部 西浦 碧(愛知) ⊗ 青年の部 鈴木 恵子(兵庫) ⊗ 一般一部 小野 藍子(兵庫) ⊗ 一般二部 大野 恵子(愛媛) ⊗ 一般三部 高野 玉江(岡山) ⊗</p>	<p>平成二十九年(第三十回)</p> <p>・剣舞の部 幼年の部 堀 真大朗(愛知) ⊗ 少年の部 細川 侑莉子(静岡) ⊗ 青年の部 白石 健太(愛知) ⊗ 一般一部 石渡 千紘(愛知) ⊗ 一般二部 河端 名加子(愛媛) ⊗ 一般三部 友井川 睦子(兵庫) ⊗</p> <p>・詩舞の部 幼年の部 森 淳華(愛知) ⊗ 少年の部 藤上 涼夏(岡山) ⊗ 青年の部 堀 咲良(三重) ⊗ 一般一部 荒谷 早智子(愛知) ⊗ 一般二部 安部 敬子(三重) ⊗ 一般三部 安部 敬子(三重) ⊗</p>
---	--	--	--	---	--	--	---	--	---

令和四年度全国剣詩舞コンクール
 決勝大会開催にあたって



(公財) 日本吟剣詩舞振興会
 会長 沼崎 富

価値ある伝統芸道の祭典

公益財団法人日本吟剣詩舞振興会主催令和四年度全国剣詩舞コンクール決勝大会が、本日、ここに盛大に開催される運びとなりましたこと、関係者共々深く喜びとするところであります。本大会のために、早朝からご来場いただきました皆さまに對しまして深く敬意を表しますとともに、いろいろと準備の為に奉仕してくださいました大会役員のかたがたに對しましても深く感謝申し上げます。剣詩舞は、吟詠の調べに合わせて詩歌のこころを心技を

もって表現するものであり、わが国の伝統芸道の中でも、今日までの民族精神の形成に大きな役割を果たしてきたばかりでなく、これからのわが国の精神文化の高揚においても大きな期待をかけられている芸道であります。当財団の主催する剣詩舞コンクールは、この剣詩舞の本質を追究し、併せて芸道としての向上を図るとともに、斯道のよりいっそうの振興と普及を目的として、全国的レベルで行なうものであります。出場者の皆さまには、日ごろの精進の成果を十分に発揮されますことを希望いたしますとともに、ご来場の皆さまにおかれましては、吟剣詩舞道の今日像を正しく理解され、ますます斯道に親しまれますようお願い申し上げます。最後に、皆さまのご健康を祈念して私の挨拶といたします。

令和四年度全国剣詩舞コンクール決勝大会役員

大会会長 沼崎 富
 大会副会長 多田 正稔
 大会実行委員 徳田 寿風

池内 賢二 大田 直樹 山田 静将
 吉田 魁桜 河野 鶴聲 大本 翠山
 大伊達不朽 藤上 翔山 早淵 鯉将
 安田 水鈴 入倉 昭星 藤本 誠堂
 清水 錦洲 鈴木 吟亮 田中 国臣
 遠藤 晃楓

☆審査委員
 審査委員長 多田 正稔
 特別審査委員 内田 寿子
 剣舞審査委員 山本 兼正 早淵 鯉将 入倉 昭星
 江口 清鳳 上岡 暁壮 杉浦 英容
 黒田 秀月 藤上 翔山
 見城 星舟 青柳弦太郎

☆大会参与
 山本 兼正 黒田 秀月 熊木 雪洲 後藤 月戈
 加藤 紫昇 宮島 神鳳 奥村 精曄 齋木 彩染
 木村 鳳鶴 鈴木 洲玉 星野 洲虹 佐々木翠鵬
 池田 嶺煌 上久保雪女 石井 桃苑 田中 竜真
 松永 悠楓 榊原 静芳 矢澤 風慶 鈴木 凱山
 石川 春洋 横田 岳理 星野 紫虹 志塚 心将

☆大会特別顧問
 山岡 哲山 小幡 神叡 福永 瀧霊 藤原 撰楠
 矢萩 鳳祥 武田 禧洲 益中 鵬山 前島 昊龍
 松岡 萌洲 野中 秀鳳 八代 輝霊 廣重 光風
 日置 彩峰 杉浦 容楓 小野光翠扇 山路 泰洲
 横山 寿城 山内 正風 向山 侑吟 山本 賀陽
 多田 正満 八文字剛洲 安永 江悠 青柳芳寿朗
 田中 岳藤 山口 華雋 横山 精真

平成十年度(第二十二回) 平成十一年度(第二十三回) 平成十二年(第二十四回) 平成十三年(第二十五回) 平成十四年度(第二十六回) 平成十五年(第二十七回) 平成十六年度(第二十八回) 平成十七年度(第二十九回) 平成十八年度(第三十回)

- ・剣舞の部
 幼年の部 深谷 俊文(愛知)
 少年の部 天野由希子(愛知)
 青年の部 林 季永子(茨城)
 一般一部 鈴木 一人(愛知)
 一般二部 広田 光次(愛知)
- ・詩舞の部
 幼年の部 高岡 美恵(岡山)
 少年の部 大野 晶子(愛知)
 青年の部 長坂 紗織(愛知)
 一般一部 星野久美子(徳川)
 一般二部 小嶋 公子(京都)
- ・剣舞の部
 幼年の部 加司 将之(大阪)
 少年の部 石井 芳典(愛知)
 青年の部 西村 朗子(大阪)
 一般一部 坂上 晃(兵庫)
 一般二部 倉地 清美(愛知)
- ・詩舞の部
 幼年の部 中川 真生(愛知)
 少年の部 鈴木 宏実(愛知)
 青年の部 小野 藍子(兵庫)
 一般一部 建部 司(愛知)
 一般二部 友井川睦子(兵庫)
- ・剣舞の部
 幼年の部 白石 健太(愛知)
 少年の部 鈴木 宏実(愛知)
 青年の部 長坂 紗織(愛知)
 一般一部 上岡 治生(三重)
 一般二部 中瀬真一郎(大阪)
- ・詩舞の部
 幼年の部 服部 幸海(愛知)
 少年の部 平田 陽子(岡山)
 青年の部 近藤 智美(愛知)
 一般一部 山岡 貴子(兵庫)
 一般二部 橋本 一恵(兵庫)
- ・剣舞の部
 幼年の部 上羽麻一子(京都)
 少年の部 藤野 舞(福岡)
 青年の部 大岡 史帆(愛知)
 一般一部 美濃部浩一郎(三重)
 一般二部 大岩 行代(愛知)
- ・詩舞の部
 幼年の部 丸山 愛美(岡山)
 少年の部 長坂 理絵(愛知)
 青年の部 原 歩(岡山)
 一般一部 田中 直美(京都)
 一般二部 浅利 健代(岡山)
- ・剣舞の部
 幼年の部 桜井 京子(愛知)
 少年の部 大野 晶子(愛知)
 青年の部 多田 和晃(大阪)
 一般一部 新藤 正代(兵庫)
 一般二部 稲垣 和子(愛知)
- ・詩舞の部
 幼年の部 鈴木恵美子(岡山)
 少年の部 長岡 加奈(岡山)
 青年の部 石渡 千紘(愛知)
 一般一部 今脇 眞弓(岡山)
 一般二部 山名千鶴子(兵庫)
- ・剣舞の部
 幼年の部 神尾 龍(愛知)
 少年の部 長坂 理絵(愛知)
 青年の部 伊藤 明(愛知)
 一般一部 中瀬真一郎(大阪)
 一般二部 小久保恵子(愛知)
- ・詩舞の部
 幼年の部 服部 怜海(愛知)
 少年の部 尾嶋 美紀(愛知)
 青年の部 岡本菜穂子(愛知)
 一般一部 美濃部浩一郎(三重)
 一般二部 藤本ヒロミ(兵庫)
- ・剣舞の部
 幼年の部 加賀 裕人(愛知)
 少年の部 藤野 綾(福岡)
 青年の部 伊藤 武(愛知)
 一般一部 鈴木 文枝(愛知)
 一般二部 加藤 政恵(愛知)
- ・詩舞の部
 幼年の部 高須 巳嘉(岡山)
 少年の部 三宅 絢子(岡山)
 青年の部 鈴木 宏実(愛知)
 一般一部 上岡 治生(三重)
 一般二部 菅原 かよ(東京)
- ・剣舞の部
 幼年の部 入倉慶志郎(愛知)
 少年の部 入倉 眸(愛知)
 青年の部 松本 典子(愛知)
 一般一部 入倉 仁美(愛知)
 一般二部 鈴木 文枝(愛知)
- ・詩舞の部
 幼年の部 長澤 美元(愛知)
 少年の部 野々上真由(岡山)
 青年の部 梶原いずみ(岡山)
 一般一部 奥田 悦代(岡山)
 一般二部 今川 由美(兵庫)
- ・剣舞の部
 幼年の部 長澤 美元(愛知)
 少年の部 五月女智仁(栃木)
 青年の部 永井 謙(愛知)
 一般一部 安藤 祐嗣(愛知)
 一般二部 斎藤 憲子(愛知)
- ・詩舞の部
 幼年の部 篠岡 佳奈(岡山)
 少年の部 服部 幸海(愛知)
 青年の部 長坂 理絵(愛知)
 一般一部 坪田 里美(愛知)
 一般二部 杉原 加代(広島)

132	131	130	129
長澤 美元	北村 学	藤上 綺夏	増井 康二
愛知	大分	岡山	兵庫
梅花絶句	赤馬が関 舟中の作	赤馬が関 舟中の作	生田に宿す

令和四年度全国剣詩舞コンクール決勝大会実施要項

- (1) このコンクールは、わが国の伝統芸道である剣舞・詩舞道に親しむ一般並びに青少年に、日ごろの剣詩舞道精進の成果を競う場を与えると同時にすぐれた剣詩舞道人を発掘し、これを表彰して斯道の向上と普及・発展を図ることを目的とし、この「全国剣詩舞コンクール決勝大会実施要項」に基づいて実施する。
- (2) 「コンクール」は、左の六部門に分けて行なうものとする。
- | | | | | | | |
|----|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| 区分 | 幼年の部 | 少年の部 | 青年の部 | 一般一部 | 一般二部 | 一般三部 |
| 資格 | 12才未満 | 12才以上
18才未満 | 18才以上
35才未満 | 35才以上
55才未満 | 55才以上
70才未満 | 70才以上 |
- (いずれも年齢は令和四年四月一日現在とする。)
- (3) コンクールの出場者は公益財団法人日本吟剣詩舞振興会(以下「財団」と略称)が全国八地区連絡協議会に委嘱して行なわれた(4)項の予選大会に出場して入賞し選出されたものであり、プログラムに記載された氏名者以外のとび込みは許されない。
- (4) 地区予選大会の名称とその包含地域
- I 北海道地区大会(道央・道南・道北・道東・北紋)
 - II 東北地区大会(青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島・新潟)
 - III 東日本地区大会(山梨・群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・神奈川・東京)
 - IV 中部地区大会(静岡・愛知・長野・富山・石川・福井・岐阜・三重)
 - V 近畿地区大会(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
 - VI 中国地区大会(岡山・広島・山口・鳥取・島根)
 - VII 四国地区大会(香川・愛媛・徳島・高知)
 - VIII 九州地区大会(福岡・大分・佐賀・長崎・宮崎・熊本・鹿児島・沖縄)
- (5) この大会の審査委員は財団本部理事会に於て委嘱されたものである。

月刊『吟剣詩舞』ご購読のお願い

月刊誌『吟剣詩舞』は、指導者および一般愛好者の皆さんに不可欠の吟剣詩舞道界の幅広い情報誌として、また、教養誌として発行されています。

購読料は年間五、〇〇〇円(送料込)です。お申し込みは、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会事務局『吟剣詩舞』係あて、購読料を添えてお申し込み下さい。

どなたでも購読できます。どうぞ、お気軽にお申し込み下さい。

(6) 出場者演舞のルール

I 出場順……申込後、厳正公平な抽選で決定したプログラム順とする。変更は特別の事由に基づき、大会会長が認めたものでないかぎり許されない。ただし、それも出場部門の競演実施中に限られる。

II 演舞吟題……指定吟題の中からあらかじめ届け出たものとし、予選、決選とも同じ演舞吟題とする。なお、その吟は財団法人の「令和四年度吟剣詩舞道吟詠集」CDを使用する。

III 衣裳と持ち道具

剣舞……①衣裳は紋付など和服、または稽古衣、はかま着用とし、なるべく簡素化したものとする。②足袋及びたすきの着用は自由とする。③持ち道具は、武器及び扇子などとする。

詩舞……①衣裳は和服、はかま着用とし、なるべく簡素化したものとする。②持ち道具は自由とし、なるべく簡素化したものとする。③扇子の型状、色彩などは自由とする。以上の原則に準じている場合は減点の対象としない。ただし、原則を著しく逸脱している場合は、減点の対象とする。

IV 舞台照明……地あかりのみとし、バックはホリゾン（白色）使用を原則とする。

V 演舞の要領……①司会者が出場者の番号、氏名、演題を紹介、一呼吸おいてCDが流される。②出場は上手、下手、板付いずれでもよい。また、そのタイミングも司会者の出場紹介が始まってからならいつでもよい。③振り付けは前奏、後奏を含めた全体でもよいし、詩文のみでもよい。演舞終了時、舞台にある振り付けの場合でも立礼は必要としない。なお、採点の対象は、原則として舞台出場から退場までの間の出場者の演技及び立居振舞とする。

(7)

I コンクールの審査要領

審査基準は財団の「剣詩舞コンクール審査規定」を適用する。II 審査の基本方針は、剣舞・詩舞は吟詠の調べに合わせて詩歌のこころを体技をもって表現する芸道である。斯道の本質を踏まえ、芸としての向上を図るうえで不可欠なものは詩歌のこころを正しく理解する素養と、その技術的表現力、芸術的表現力である。この前提に立って審査の項目及び配点を、次のように設定する。

「詩舞」一般一部

113	112	111	110	109	108	107
岩田侑希	永井聡多	小嶋和美	中野和美	曾根敬志	松山知子	迫希実秀
京都	愛知	京都	道央	新潟	岡山	千葉
梅花絶句	和歌・あさみどり	和歌・あさみどり	梅花絶句	生田に宿す	生田に宿す	生田に宿す

121	120	119	118	117	116	115	114
武井志保子	友井川泰子	伊藤修司	橋口稔子	吉田訓子	林亮志	原歩	入倉仁美
栃木	兵庫	愛知	高知	熊本	愛媛	岡山	愛知
生田に宿す	和歌・あさみどり	赤馬が関舟中の作	梅花絶句	漢江	和歌・あさみどり	生田に宿す	梅花絶句

「詩舞」青年の部

128	127	126	125	124	123	122
入倉真之将	前野里彩	原光希	西浦美穂	野澤美裕	日野晴菜	柴田譲
愛知	道央	兵庫	徳島	東京	福岡	愛知
赤馬が関舟中の作	赤馬が関舟中の作	梅花絶句	梅花絶句	生田に宿す	漢江	和歌・あさみどり

92	91	90	89	88	87	86	85
石田泰範	高橋博之	大津知紀	吉田郁夫	鈴木宏実	川邊義英	吉田俊夫	坪田里美
大分	群馬	兵庫	徳島	愛知	福岡	徳島	愛知
中庸	中庸	中庸	北庄懐古	北庄懐古	中庸	逸題	塚下の歌

99	98	97	96	95	94	93
佐々木真功名	上岡隆生	五月女智仁	菅河原真菜美	衛藤優美	野中政利	藤島永治
青森	三重	栃木	山口	福岡	東京	岡山
北庄懐古	和歌・吹く風を	塚下の歌	中庸	塚下の歌	和歌・吹く風を	逸題

106	105	104	103	102	101	100
石川姫麗	高橋英誠	友井川友	向山諒一	多嘉良銀太	杉浦きよ乃	鉤隆之介
愛知	徳島	兵庫	福岡	東京	愛知	滋賀
中庸	逸題	北庄懐古	中庸	中庸	北庄懐古	北庄懐古

「剣舞」青年の部

- A 技術的表現力（50点配点）
 ① 基礎技量……30点 ② 錬磨度……20点
- B 芸術的表現力（50点配点）
 ① 詩心表現力……30点 ② 舞台表現……20点
- (8) 審査除外（失格）
 I 遅刻、指定CD外演舞、演舞放棄、その他審査委員長が失格と認めた場合。
 II 全国大会の出場者数と表彰
- (9) 全国大会の出場者数と表彰
 I 9頁別表の通り。
 II 出場者には参加賞を授与する。
 III 各部一位入賞者は第五十三回全国吟剣詩舞道大会に於て、全国剣詩舞コンクール優勝者として出演する。
 IV 剣舞、詩舞各部に次の賞を贈る。

〈幼年の部〉

- 一位 文部科学大臣賞（剣舞・詩舞のいずれか上位者）
 会長賞・金メダル・NHK杯
 二位 会長賞・銀メダル

三位 会長賞・銅メダル
 〈少年の部〉

- 一位 文部科学大臣賞（剣舞・詩舞のいずれか上位者）
 会長賞・金メダル・NHK杯
 二位 会長賞・銀メダル
 三位 会長賞・銅メダル
 四位～五位 会長賞

〈青年の部〉

- 一位 文部科学大臣賞（剣舞・詩舞のいずれか上位者）
 会長賞・金メダル・NHK杯
 二位 会長賞・銀メダル
 三位 会長賞・銅メダル
 四位～五位 会長賞

〈一般一部〉

- 一位 文部科学大臣賞（剣舞・詩舞のいずれか上位者）
 会長賞・金メダル・民放杯
 二位 会長賞・銀メダル
 三位 会長賞・銅メダル

四位～五位 会長賞

〈一般二部〉

一位 文部科学大臣賞（剣舞・詩舞のいずれか上位者）

会長賞・金メダル・民放杯

二位 会長賞・銀メダル

三位 会長賞・銅メダル

四位～五位 会長賞

また、文部科学大臣杯及び各部一位入賞者（優勝者）へ授与する会長杯は持ち回りとする。

〈一般三部〉

一位 会長賞・金メダル・民放杯

二位 会長賞・銀メダル

三位 会長賞・銅メダル

(10) 「コンクール」進行中の拍手、声援、私語雑談及び大会本部許可の報道関係者並びに記録班以外の会場内での写真撮影、ビデオ等の録画は禁止する。

(11) 本コンクールにおいて財団が撮影した写真や映像については、財団が発行する雑誌、公式ホームページ及びテレビ放映などは、財団が発行する雑誌、公式ホームページ及びテレビ放映など

にて使用する場合がある。

※「審査結果発表並びに入賞者表彰時の留意事項」

幼年・少年の部の審査結果は、昼食休憩終了後の剣舞一般の部の審査開始前に発表されます。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、審査結果発表時に出場者本人が不在の場合も失格とはしません。

また、表彰式典において壇上で表彰するのは各部の優勝者のみとし、出演衣裳でなくても構いません。

69	68	67	66	65	64
中尾俊治	百田あゆみ	大城戸正美	五月女益美	齊藤佐津子	牧清美
徳島	京都	熊本	栃木	高知	愛知
赤馬が関 舟中の作	和歌・ あさみどり	漢江	生田に宿す	漢江	赤馬が関 舟中の作

「詩舞」一般二部

77	76	75	74	73	72	71	70
渡邊祐子	対馬真喜子	三角園幸重	藤岡洋子	桒本麻名	武田富久代	灘部鈴子	疋田澄子
静岡	青森	岡山	広島	道央	神奈川	東京	京都
漢江	赤馬が関 舟中の作	生田に宿す	生田に宿す	赤馬が関 舟中の作	赤馬が関 舟中の作	生田に宿す	梅花絶句

84	83	82	81	80
宮岡貴子	根岸友美	中田加奈子	木村佳奈	犬飼秀文
高知	栃木	愛知	兵庫	岡山
垓下の歌	中庸	中庸	和歌・吹く風を	山逸題

「剣舞」一般一部

79	78
松永文幸	藪内享子
佐賀	京都
赤馬が関 舟中の作	漢江

令和四年度全国剣詩舞及び群舞コンクール指定吟題

☆剣舞		☆詩舞	
(幼年・少年の部)		(幼年・少年の部)	
1 桶狭間を過ぐ	大田 錦城	1 応制天の橋立	釈 希世
2 書 懐	篠原 国幹	2 清 明	杜 牧
3 那須与一宗高	松口 月城	3 和歌・ふるさとの	石川 啄木
(青年・一般の部)		(青年・一般の部)	
1 逸 題	山内 容堂	1 赤馬が関舟中の作	伊形 靈雨
2 垓下の歌	項 籍	2 生田に宿す	菅 茶山
3 中 庸	元田 東野	3 漢 江	杜 牧
4 北庄懐古	芳川 越山	4 梅花絶句	土屋 竹雨
5 和歌・吹く風を	源 義家	5 和歌・あさみどり	明治天皇御製

令和四年度全国剣詩舞コンクール決勝大会出場者数

地区別	資格区分	幼年	少年	青年	一般一部	一般二部	一般三部	合計
		11歳まで	12~17歳まで	18~34歳まで	35~54歳まで	55~69歳まで	70歳以上	
北海道	剣舞	0	0	0	0	1	1	2
	詩舞	0	0	1	1	1	1	4
東北	剣舞	0	0	1	0	0	0	1
	詩舞	1	1	0	1	1	1	5
東日本	剣舞	1	2	3	2	1	1	10
	詩舞	1	1	1	2	3	2	10
中部	剣舞	1	2	3	3	2	1	12
	詩舞	1	2	3	3	2	1	12
近畿	剣舞	1	2	2	2	2	1	10
	詩舞	1	2	2	3	3	1	12
中国	剣舞	1	1	1	2	1	1	7
	詩舞	1	2	1	2	2	2	10
四国	剣舞	1	1	1	3	1	1	8
	詩舞	1	1	1	2	2	2	9
九州	剣舞	1	1	2	2	2	2	10
	詩舞	1	2	2	1	2	2	10
計	剣舞	6	9	13	14	10	8	60
	詩舞	7	11	11	15	16	12	72
入賞	剣舞	3位まで	5位まで	5位まで	5位まで	5位まで	3位まで	132
	詩舞	3位まで	5位まで	5位まで	5位まで	5位まで	3位まで	

「剣舞」一般二部

41 三浦通子	大分	北庄懐古
42 西原 香	兵庫	逸 題
43 西村美輪	高知	北庄懐古
44 大久保昌良	愛知	垓下の歌
45 濱岡眞澄	京都	垓下の歌
46 白山敦子	道央	逸 題
47 竹森裕二	広島	垓下の歌

「詩舞」一般三部

48 鈴木一人	茨城	中 庸
49 川邊善彦	福岡	中 庸
50 建部 司	愛知	北庄懐古
51 山田貴己	大分	北庄懐古
52 加来貴子	福岡	生田に宿す
53 大本ヨシ子	広島	生田に宿す
54 吉田ミキ子	青森	和歌・あさみどり

55 山田幸子	愛媛	生田に宿す
56 尾代きみ	和歌山	赤馬が関舟中の作
57 成田けい子	道央	梅花絶句
58 山口保子	茨城	漢 江
59 中山みさを	東京	生田に宿す
60 金屋俊枝	広島	生田に宿す
61 蜂須賀記代子	愛知	和歌・あさみどり
62 田中トミコ	愛媛	和歌・あさみどり

◎コンクール出場者氏名

「剣舞」幼年の部

出演順	氏名	推薦	演題	成績
1	齊藤 袖璃	兵庫	書 懐	
2	敷津 才蔵	大分	桶狭間を過ぐ	
3	吉田 哲基	徳島	那須与一宗高	
4	小野 愛琉真	栃木	書 懐	
5	花本 瑛里	岡山	桶狭間を過ぐ	

「剣舞」少年の部

6	鈴木 嗣人	愛知	那須与一宗高	
7	檀山 粹生	東京	書 懐	
8	安藤 翔	岡山	那須与一宗高	
9	小西 元気	愛媛	書 懐	
10	松田 卓也	兵庫	那須与一宗高	
11	永田 菜桜	愛知	桶狭間を過ぐ	
12	神田 蓉	東京	那須与一宗高	

「詩舞」幼年の部

13	山田 明穂	大分	書 懐	
14	松田 侑也	兵庫	那須与一宗高	
15	堀 真大朗	愛知	那須与一宗高	
16	畑本 彩希	岡山	応制天の橋立	
17	池田 悠希	福岡	清 明	
18	石川 琳梨	茨城	清 明	
19	若松 柚希	京都	和歌・ふるさとの	

「剣舞」一般三部

20	水口 葉月	愛媛	応制天の橋立	
21	村田 蘭	福島	清 明	
22	塙 寛介	愛知	和歌・ふるさとの	
23	西浦 輝	愛知	応制天の橋立	
24	日野 満利花	福岡	応制天の橋立	
25	植原 季香	京都	応制天の橋立	
26	四方 はな	京都	清 明	
27	畑本 彩結	岡山	和歌・ふるさとの	
28	服部 涼	岡山	和歌・ふるさとの	
29	上竹 美聖	新潟	応制天の橋立	
30	玉熊 埜乃	茨城	和歌・ふるさとの	
31	篠原 恵満奈	徳島	応制天の橋立	
32	古田 琉舞	大分	清 明	
33	堀 真悠子	愛知	応制天の橋立	
34	山地 花枝	香川	中 庸	
35	加藤 登規	兵庫	中 庸	
36	竹口 敦子	道央	垓下の歌	
37	鈴木 文枝	愛知	垓下の歌	
38	津村 恵子	長崎	和歌・吹く風を	
39	谷野 光弘	岡山	中 庸	
40	鈴木 公男	栃木	中 庸	

「詩舞」少年の部

20	水口 葉月	愛媛	応制天の橋立	
21	村田 蘭	福島	清 明	
22	塙 寛介	愛知	和歌・ふるさとの	
23	西浦 輝	愛知	応制天の橋立	
24	日野 満利花	福岡	応制天の橋立	
25	植原 季香	京都	応制天の橋立	
26	四方 はな	京都	清 明	